

文部科学省 平成 20 年度採択大学改革推進事業・東京学芸大学 60 周年行事

## 「特別支援教育時代の教員養成システムの開発」

平成 21 年度シンポジウム

### 通常学級の教員に求められること

東京学芸大学では、平成 20 年度採択の質の高い大学教育推進プログラム(教育 GP)「特別支援教育時代の教員養成システムの開発」の事業の一環として、シンポジウム「通常学級の教員に求められること」を開催することになりました。

このプログラムはすべての通常学級の担任の先生が特別支援教育についての基本的な知識、技能をもつことができるような教員養成システムをめざしております。子どもの教育に関心をもつ多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

**日時** 平成 21 年 **11 月 29 日(日)** 13:30 ~ 16:30

**会場** 東京学芸大学・N 棟 410 教室 ※参加費は無料です。

**内容** 開会挨拶：大竹 美登利 (東京学芸大学特別支援教育時代の教員養成システムの開発推進委員会委員長  
東京学芸大学教育学部総合教育科学系長)

基調報告：伊藤 友彦 (東京学芸大学特別支援教育時代の教員養成システムの開発事業推進責任者  
東京学芸大学教育学部教授)

シンポジウム：司会 渡邊 健治 (東京学芸大学教育学部教授)  
奥住 秀之 (東京学芸大学教育学部准教授)

話題提供 新堀 和子 (全国 LD 親の会評議員)  
吉本 裕子 (小平市立鈴木小学校校長)  
太田 裕子 (東京都教育庁指導部副参事(特別支援学校教育担当))  
田中 亮 (小金井市立本町小学校教諭・同校特別支援教育コーディネーター)

指定討論 松浦 隆太郎 (杉並区立済美養護学校校長)  
三浦 勝夫 (国立市立国立第六小学校教諭通級担任)  
東京学芸大学教育学部 4 年生

閉会挨拶

お問い合わせ先



国立大学法人 東京学芸大学

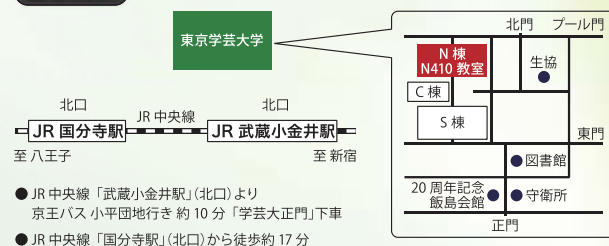
「特別支援教育時代の教員養成システムの開発」担当

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

TEL : 042-329-7601

Web : <http://www.yoseigp-gakugei.jp/>

会場 MAP



## 実施報告

はじめに、本プロジェクト推進委員会委員長（大竹）より、シンポジウムの趣旨説明を含めた開会あいさつが行われ、続いて、本プロジェクト推進責任者（伊藤）から、本プロジェクトについての基調報告がなされた。

シンポジウムにおいては、保護者の立場から新堀氏、小学校校長の立場から吉本氏、行政の立場から太田氏、教員及びコーディネータの立場から田中氏が話題提供を行った。次に、特別支援学校校長という立場から松浦氏、通級担任という立場から三浦氏、学生の立場から筒井氏が指定討論を行った。

参加者は、外部から、保護者6名、教員10名を含む、約40名。関係者が約20名だった。アンケートの自由意見によると、このシンポでの発表・意見を、他の教員に聞いてもらいたい、管理職にも聞いてもらいたい、他の大学教員に聞いてもらいたい等、概ね好評だった。また、専門（障害児教育関係）以外の方の参加が欲しい、中学の話も聞きたかった、冊子を分けてほしい、ホームページをもっと充実させてほしい、など、今後の活動の参考になる意見もいただいた。

